

希望ささやく

No. 9

校長 浅野 聡

人権について考えよう！

「ある日の出来事から」中学校1年生の作文 川越市人推協だより「人権かわごえ」第34号より

私と母で出かけたときのことです。駅のホームで、母が知らない男の人のほうに突然近づいていきました。その男の人は、白い棒の先で地面をこつこつとたたいていました。私は小学校の時に体の不自由な人のことを少し勉強したので、白い棒を見て目の不自由な人が使う白杖だとすぐに分かりました。私は何をすればいいのかわからず立ち止まっていると、母はその男の人に、「大丈夫ですか。どこに行きたいのですか。」と、声をかけました。母は男の人と腕を組んで、ホームから階段のほうへゆっくりと少しずつ歩いていきました。階段に来ると、「もうすぐ上りの階段です。」「あと三段で階段が終わります。」「右に曲がります。」などと、男の人に声をかけていました。改札口を出ると、男の人を点字ブロックまで案内して別れました。男の人は母に、「ありがとう。ありがとう。」と、何回もお礼を言っていました。

男の人と別れた後、私は小学校の総合的な学習の時間に体験したことを思い出しました。目かくしをして学校の中を歩いたり、よく見えなくなる眼鏡をかけたりしました。普段歩き慣れたところなのに、目かくしをするだけで何が何だか分からず、とても怖くて不安に思いました。また、廊下にマットが敷かれていて、突然足場が不安定になり、転びそうになりました。助けてくれる人がいなかったら、歩くことができませんでした。学校という、もともと大きな危険などないと分かっているところさえ、こうなるのです。目が見えていても危険な目にあう道や駅だったら……。考えただけで足がすくんでしまいます。

母は、男の人を点字ブロックまで案内していました。点字ブロックは、目の不自由な人のための道しるべとなるものです。道路の方向や信号があることを教えたり、階段が始まることを知らせてくれたりします。点字ブロックは、目の不自由な人にとって、道を歩くのに重要な情報を得られるとても大切なものです。

私たちの利用した駅には、ホームドアが設置されていました。数年前に、目の不自由な人がホームから落ちて電車とぶつかる事故があったそうです。その事故を受けて、ホームドアの設置が進みました。目の不自由な人にとって、少しは安全に歩けるようになったと思います。

考えてみると、普段の生活の中にも目の不自由な人への工夫はあります。例えば信号です。青になったら音が変わったり音楽が流れたりして、渡るタイミングを教えてくれるものもあります。こうすることで、目の不自由な人が、道路に飛び出してしまったりなかなか道を渡れなかったりすることを減らせます。

また、お礼にも工夫があります。お礼には注意して触ると端に少しでこぼこしているところがあります。そこでこぼこはL字形や直線に並んでいて、何円札かを区別することができます。少しの工夫で目の不自由な人も安心、安全が得られたり、自分でできることが多くなったりするのです。世の中には少しずつですが不自由さをカバーする工夫が増えています。

しかし、物やシステムが工夫されること以上に大切なことがあると思います。それは、みんなが少しでも気を遣うということです。ボタンを押せば音が流れる信号や点字ブロックがある場所で、白杖を持った人が信号待ちをしていたらボタンを押す。点字ブロックの上には荷物を置いたり立ったりしない。このようなことに気を遣おうと私は決めました。せっかく工夫されたものがあっても、みんなが気を遣わないと役に立たなくなってしまいます。

今回の経験を通して、困っている人をずっと助けられる母を尊敬するようになりました。私は今まで、困っている人を見つけてもどうすればいいかわからず、知らない人に声をかける勇気が出ずに見て見ぬふりをしているだけでした。いくら思っている、行動に移さなければ何にもなりません。

街の中には、目の見える私たちにとっても危険な所はたくさんあります。体の不自由な人にとってはその危険度は何倍にも感じられると思います。これからは、困っている人に進んで声をかけ、小学校で学んだことを活かして、母のように行動したいです。そして、みんなが思いやりを持って体が不自由な人のために工夫し、気を遣って生活したら、みんなが幸せに暮らせるようになると思います。みんなの幸せは、私たち一人一人の少しの勇気や思いやりから生まれると思います。

人と人が一緒に生活していくうえで、すべてうまくいくとはかぎらない。でも、お互いのことを考える、理解しようとすることはだれでもできること。お互いを尊重し合い、認め合い、思いやりを持って接することはできるはず。同じ生活をするなら、お互い気持ちよく生活しようではありませんか。みんなで「温かい南古谷中」を創っていきましょう！

12月4日から10日は「人権週間」です。一人一人が人権について真剣に考え、差別やいじめのない社会を創っていきましょう！

12月の主な行事予定

～11月の出来事より～

新人体育大会県大会 埼玉県アンサンブルコンテスト西部地区大会

【11月10日～】

新人県大会には、男子バスケットボール部、柔道（個人）、硬式テニス（個人）が出場し、熱戦を繰り広げました。

また、吹奏楽部が出場したアンサンブルコンテストでは、木管八重奏が銀賞、打楽器三重奏が金賞を獲得しました。

3年生子育て体験学習【11月27日】

NPO法人川越市子育てネットワークをお願いし、1コマ目は体育館で妊婦体験と乳児とのふれあい体験、2コマ目は誕生学アドバイザーの講師の方による講演を行いました。コロナ禍が明けて今年は赤ちゃんとのふれあい体験も行われ、抱っこをさせてもらったり、ミルクを飲ませたり、泣き出す赤ちゃんに困ったり・・・、小さな命の重みを直接感じる事ができました。



赤ちゃんを抱っこ

妊婦さん体験
こんなに体は重くなるのです。



保護者アンケートのお知らせを、明日配布します。アンケートは2種類あります。お忙しい中とは存じますが、それぞれご回答をよろしくお願いいたします。

日	曜日	行事
1	金	朝：修学旅行荷物積み込み 2年生修学旅行事前指導 1年生社会体験事前指導
2	土	
3	日	2年生修学旅行①
4	月	3年生三者面談① 2年生修学旅行② 1年生社会体験①
5	火	3年生三者面談② 2年生修学旅行③ 1年生社会体験②
6	水	3年生三者面談③ 2年生振替休業日 1年生社会体験③
7	木	3年生三者面談④ 後期尿検査最終
8	金	3年生三者面談⑤
9	土	
10	日	
11	月	Ⅲ期時間割開始 3年生三者面談⑥
12	火	学年朝会 3年生三者面談⑦
13	水	
14	木	生徒会専門員会
15	金	性教育講演会（PM）
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	生徒朝会
20	水	給食最終日
21	木	学年集会・大掃除
22	金	2学期終業式
23	土	冬季休業日～1/8
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	閉庁日～1/3
30	土	
31	日	



12/29（金）
～1/3（水）
学校は閉庁となります。